

## 乾燥収縮低減剤、実用化へ

### - 鉄筋コンクリート構造物のひび割れ抑制を効果的に実現 -

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、社長：池田全徳、以下当社）は、2009年より鹿島建設株式会社、清水建設株式会社、大成建設株式会社のゼネコン3社、及び北海道大学・名和教授と共同で、当社が開発した乾燥収縮低減剤「アクアガード®」を用いた低収縮コンクリートである「KST-アクアガードコンクリート」の実用化に向けた検討を行ってまいりましたが、この度、財団法人日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました。この事により、上記ゼネコン3社が当社開発品・乾燥収縮低減剤「アクアガード®」を用いた物件を本格的に受注・施工することが可能となります。

近年、鉄筋コンクリート造建築物の耐久性に関する社会的関心の高まりを背景として、コンクリートの乾燥収縮（ひび割れ）の低減は特に重要視される課題となっています。従来、乾燥収縮低減剤としては界面活性剤類が普及していましたが、耐凍害性<sup>1)</sup>の著しい低下や施工性の低さなどが問題となり、新規剤の開発が待たれていました。

そこで当社は、コア製品である酸化エチレンをベースとした新規な乾燥収縮低減剤「アクアガード®」を開発しました。この「アクアガード®」を用いた場合には、耐凍害性の著しい低下がほとんど生じず、かつ通常の化学混和剤と同様の施工性を有するため、施工コストを大幅に低減することも可能となります。

全国で年間約8,000万<sup>3</sup>mのコンクリートが使われていますが、乾燥収縮が問題となるコンクリートは、年間約2,000万<sup>3</sup>mと推算されています。今後、ゼネコン3社による施工実績を積み重ね、「アクアガード®」の本格的な普及を目指してまいります。

以 上

<sup>1)</sup>耐凍害性：冬にコンクリート中の水が凍ったり溶けたりすることにより、コンクリートの耐久性が低下する現象に対する抵抗性

#### 【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 水溶性ポリマー営業部  
:06-6223-9176 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4-1-1